

## □■養成所ニュースプラス第 44 号 2025□■

阪神淡路大震災から 30 年が経ちました。本日開かれた追悼のつどいの会場では「よりそう」のメッセージが描かれました。多くの被災地と共に歩んでいくという思いが込められています。

今回の人物に関する○×問題は「福祉サービスの組織と経営」からの出題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみてください。

### ■Plus Quiz・・・・・・・・

#### 【福祉サービスの組織と経営○×問題】

1. テイラー(Taylor,F.)が行ったホーソン実験では、物理的作業条件よりも人間関係の側面が生産性に影響を与えることが明らかにされた。【第 34 回問題 120 改変】
  2. バーナード(Barnard,C.)によれば、公式組織の 3 要素とは、コミュニケーション、貢献意欲、共通目的である。【第 33 回問題 121】
  3. シュミット(Schmidt,W.H.)のコンティンジェンシー理論の特徴は、普遍的組織原則は存在せず、外部環境の違いに応じて、効果的な組織の形態や組織構造は変わるという考え方である。【第 34 回問題 120 改変】
  4. マグレガー(McGregor,D.)によれば、仕事への満足感につながる要因と仕事への不満につながる要因とは異なる。【第 33 回問題 122 改変】
  5. マクレランド(McClelland,D.)の実験によれば、集団の中で孤立無援の状態では異議を唱えるのと、一人でも同じ考えの仲間がいるのとでは、集団力学的には大きな違いがあるといえる。【第 33 回問題 121 改変】
- 正答と解説は最後に記載してあります。

### ■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(35 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(36 期生) 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ  
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。  
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。  
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

### ■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 37 回国家試験は、令和 7 年 2 月 2 日(日)です。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1435895&c=3246&d=99c7>
- ※試験時間、試験科目(午前・午後の内訳)が公開されました。
- ・第 37 回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1435896&c=3246&d=99c7>
- ・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。  
全ての「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」が視聴可能です。また、12 月 20 日(金)に国家試験直前対策講座(有料)の講義動画の視聴が開始となりました。是非ご活用ください。  
受験対策ページへアクセスはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1435897&c=3246&d=99c7>
- ※12 月 26 日(木)に 3 本目の「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」動画並びに「第 36 回国家試験受験アンケート」の抜粋を公開しました。
- ※「国家試験直前対策講座(有料)」については、受講確定者に対してご案内(受講確定通知)を郵便及びメールにて送

付しています。

※「国家試験直前対策講座（有料）」について、教材の一部に訂正があります。1月9日（木）に専用ページ内にて訂正表を公開しました。ご確認ください。

#### ■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1435898&c=3246&d=99c7>

- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第37期生の出願を受け付けております。

現在、3期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介くださいますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1435899&c=3246&d=99c7>

資料請求についてはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1435900&c=3246&d=99c7>

#### ■Back Number・・・・・・・・

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1435901&c=3246&d=99c7>

#### ■Plus Column・・・・・・・・

##### 【受験対策ミニ講座第18号／受験の手引の確認2】

今回は、「受験の手引」12・13ページの試験当日の注意事項から下線部を中心にお伝えします。

（1）試験当日に不正行為が判明した場合には、受験停止または試験の無効とされることがあります。示されている不正行為の例示を確認し、疑われることのないようにしましょう。

（2）携帯電話は、試験開始前に試験監督員の指示で一斉に机の上に出し、電源が切れていることを確認して、各自カバンにしまうことになります。試験当日までに電源の入り切りやアラーム音の解除方法等を必ず確認し、当日は速やかに指示に従えるようにしましょう。

また、12ページには、腕時計でも、時計機能以外の端末機能、通信機能、辞書機能があるスマートウォッチ等は不可とあります。普段、使用している方は、当日になって慌てないように、試験本番で時間の確認をどうするかを決めておきましょう。

（3）1月6日付で社会福祉振興・試験センターからも、当日は、気象条件や公共交通機関の運行状況等に注意して時間に余裕を持って向かうようにという内容のお知らせが出ています。当日は、試験の開始時刻を目指すものではありません。12ページには、午前8時30分から9時15分の間に必ず入室することとあります。当日何があっても落ち着いて対応できるよう、ゆとりを持って時間設定をしましょう。

試験会場へは公共交通機関を利用して来場することとあります。自家用車での送迎は遠慮してほしいこと、近隣店舗や近隣施設の駐車場への駐車は絶対にしないこと、近隣からの苦情には直ちに通報するとともに書かれています。

試験会場へのアクセスについては受験票にあります。様々な事態を想定し複数の経路を検討しましょう。乗り換えにかかる時間、降車・発車ホームの番線、電車の行先、トイレの位置等をアプリで調べ、メモを作り手元に残しておくことで安心です。

次回は、体調管理と合格した先輩からの当日に向けたメッセージをお伝えします。

##### 【Plus Quiz・・・・・・・・正答と解説】

「福祉サービスの組織と経営」の出題基準の大項目には「福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論」があり、中項目に示されている「組織運営」「チーム」「リーダーシップ」に関して人物問題が出題されてきました。人名ではなく理論の説明が選択肢となることもあります。人名と理論をセットで覚えておくことで対応ができます。

リーダーシップ理論はメルマガ 41 号で取り上げたので、今回は、組織運営とチームの基礎理論を確かめていきましょう。

1. ×選択肢は、メイヨー（Mayo,G.）とレスリスパーガー（Roethlisberger,F.）が行ったホーソン実験の説明です。テイラー（Taylor,F.）が提唱した「科学的管理法」は、作業現場を合理的な規則と手続きにより科学的に管理する手法で、「課業管理」「作業の標準化」「作業管理のために最適な組織形態」という3つの原理があります。
2. ○バーナードは、組織を公式組織と非公式組織に分け、公式組織を「2人以上の人々の意識的に調整された諸活動もしくは諸力の体系」と定義しました。その成立条件として選択肢の3要素を必要としました。
3. ×選択肢は、ローレンス（Lawrence,P.R.）とローシュ（Lorsh,J.W.）などが提唱したコンティンジェンシー理論（状況適合理論、環境適合理論）です。シュミットは、コンフリクトマネジメントを「自己主張性」と「協力性」で把握するモデルを示しています。
4. ×選択肢は、ハーズバーグ（Herzberg,F.）のモチベーション理論における「二要因理論」の説明です。マクレガーは、人間を2つのモデルに分け、「X理論」では、人間は怠け者であるため、命令や強制、厳しい賞罰で動機づけ、「Y理論」では、人間は自己実現欲求をもつため、自律や責任により動機づけるという、それぞれのモチベーションの上げ方を示しました。
5. ×選択肢は、アッシュ（Asch,S.）の集団圧力の実験の説明です。マクレランドは、モチベーション理論において「欲求理論」を提唱し、仕事への動機づけは、「達成欲求」「権力欲求」「親和欲求」「回避欲求」の4つからなるとしました。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus